

認定こども園の運営

教育・保育目標の『心も身体もたくましい子・感性ゆたかな子・思いやりのある子』に基づいて効果的な施設運営に努めた。

1 教育・保育

基本的には『情緒の安定』を図ることにより、のびのびとした子どもらしい子どもに育つよう、また、それぞれの年齢や発達課題に応じたきめ細かい教育・保育に取り組み、心身ともに健やかに成長するよう努めた。年長児については卒園後小学校生活に順調に適応していけるよう学校見学等も実施した。

また、延長保育事業や一時預かり事業等保護者の各種保育ニーズ及び、「発達」や「言葉の理解・表出」に対する相談事業や子育て相談等にも対応してきた。

2 給食

近年、「食育推進」が盛んに謳われているが、当園では季節に合った新鮮な食材を使用し、子どもたちに手作りの給食のおいしさと楽しさを味わってもらおうよう努めている。給食は身体を发育させるとともに五感を刺激すること、また、生産、流通、販売に携わるたくさんの人々や両親、給食の職員に感謝すること等により、躰や心の成長にも大きな役割を果たすので、目、鼻、舌と心を満足させるおいしくて楽しい給食と、食中毒の防止等衛生管理にも十分配慮した安心・安全な給食の提供に心掛けている。

給食時には栄養士が毎日その日の献立の栄養素の説明をしている。また当園の第二の園庭「どんどんひろば」の畑で出来た作物を使用した「手作りおやつ」を提供したり、保護者には参観日等の場で食育の説明及び試食会も行っている。

3 専門性の向上

(1) 職員研修

職員の資質向上と教育・保育内容の向上を図るため、さらには多様なニーズに柔軟に対応出来るようになるため、各職員の希望と研修計画に基づいて各種研修に積極的に参加させるよう努めた。近年では子どもの身体や言葉における「発達障害」及び「療育方法」等についての保護者からの相談が多いこと及び専門機関が少ないところから発達障害に対する支援の必要性を強く感じている。

4 職員処遇

(1) 就労環境の整備

園行事の見直しや就労意識の改善等により、時間外労働の短縮・削減、定時退勤の励行、有給休暇の取得率向上に努めた。保育意欲の向上のためにもワーク・ライフ balan

スに配慮する等就労環境の整備を図り、今後ともなお一層魅力ある職場となるよう努力したい。

5 社会貢献

(1) 地域貢献

地域における保育園の果たすべき役割に「地域貢献」が挙げられるが、近年、特に核家族化による子育て世帯の孤立、コミュニケーションの減少も加速度的に進む中、その重要性がより高まってきていると感じる。当園では以下においてその役割を果たそうと努めた。

①「シニア交流会」

地域のお年寄りを招いての「シニア交流会」は毎年の恒例行事として実施しているが、お年寄りから開催を催促される等大変好評だった。「一人暮らし老人」の見守り活動やお年寄りの生きがいづくりにも貢献することが出来有意義だった。また、日頃お年寄りとの交流の機会の少ない園児たちには新鮮な出会いだったようでとても楽しんでいた。

②「小学生との交流」

当園の夏祭りや運動会、お遊戯会といった各行事には卒園児のみならず地域の小学生が大勢参加する等、目標とする地域の子育てセンターとしての役割を果たすことができたと考えている。小学生との交流は両親共働き世帯の児童の健全育成対策としての意味合いもあり、特に夏休み等長期休暇を中心に実施して行きたい。

30年度の実績として、各行事への招待の他、「下長仲良しクラブ」(学童保育)の利用生徒を対象に流しそうめん大会に招待したり、同クラブ利用の3年生を対象に陶芸教室を開催したりと年々その交流の機会を多く設けてきている。

③「ふわふわたいむ」

地域の未就園の0・1才児の親子を対象に保育園を開放し、○親子のふれあい、○お母さんのゆったりタイム、○子どもの遊びや子育ての悩みについてアドバイスすること等を目的に昨年度に引き続き実施した。

30年度は5月28日と10月5日の2回、開催した。参加した保護者からは大変好評だったので今後も引き続き実施したいと考えている。

④「わくわくキッズ」

下長公民館で行われている未就園の母子を対象とする「子育てサークル“わくわくキッズ”」に地区社協と連携し当園保育士2～3名を2回にわたって派遣し、絵本の読み聞かせや手遊び・歌遊びの方法等を伝えるとともに、子育ての悩みや保護者のストレス解消に応えた。

(2) 施設慰問

依頼に基づき特別養護老人ホーム「寿楽荘」の慰問を行った。入所者のお年寄りや施設職員の方々をはじめ、園児の保護者や地域の人々に大いに喜んでいただいたので、今後ともできるだけ参加していきたい。

(3) 他機関及び地域住民との連携

発達に遅れのある、もしくはいわゆるグレーゾーンといわれる幼児の療育方法等に対して、当園の嘱託医でもある有吉医師（はまなす医療療育センター、言葉の相談室担当医）に相談をしたり、そのようなお子さんの入所依頼も複数件を数えた。このことは発達に関する専門医より当園の教育・保育内容、職員の資質、教育・保育に対する姿勢が一定の評価を受けているものと考えている。また現に30年度は当園と他の療育専門機関とを併行利用している児童も複数名を数えており、同時に今後もこのようなケースはますます増えることと予想されることから、医師、専門機関スタッフとの協議や研修機会の確保及び保護者とのさらなる連携が必要と考えている。

また、八戸市総合教育センター内に「こども支援センター」が設立され就学前児童についても相談に応じるということで連携促進を図りたい。

地域住民との連携としては、食育に関連する行事（田植え、苗植えといった田畑の管理や園庭のミニトマト、キュウリ、ゴーヤといったプランターの管理等）、前項「ふわふわタイム」、「シニア交流会」へ当法人の理事、監事、評議員を中心に数多くの方々からの協力が得られている。世代間交流の大切さは常日頃から感じており、今後も積極的に企画し、協力を要請しようと考えている。

(4) 人材活用と社会貢献

当園々長がおもちゃインストラクターとして下長小学校からの外部講師の依頼に2回応じた。内容としては2学年の生活科の授業「手作りおもちゃを楽しもう」、ねらいとしては、生徒に身近な材料（廃材）を用い、手作りの楽しさを体験するであった。今後もこのような依頼に関しては積極的に協力させようと考えている。

(5) 災害時の避難場所

非常災害発生時における地域の避難場所（施設）が従来の「下長小学校」から「八戸総合卸センター」に変更された。地域の中心から徒歩20分から30分を要することになり、乳幼児、高齢者にとっては避難における負担が大きくなった。下長保育園は従来から災害用備蓄用品（水、米、乾パン、紙おむつ、簡易トイレ、小型ガス発電機等）を常備している。遊戯室を利用することにより少人数であれば緊急時の避難場所としても有効である。また町内会とも地域住民の受け入れについて協定している。

6 課題

今後の課題としては、①保育園卒園児の学校教育へのスムーズな移行を図るため小学校との連携をさらに深めていきたいと考えている。また、②災害時の避難及び不審者対策が課題としてあげられる。避難訓練、不審者対策訓練は毎月実施しているものの、自立歩行の難しい乳児を始め、乳幼児の避難は困難を伴うことが多く、より効果的な対策を工夫しなければならない。今後さらに訓練を重ねるとともに、警察、消防、地域等との連携をなお一層強化していきたい。

これからも保育所の持つ機能の有効活用により地域になくてはならない施設として役割を果たしていきたい。

平成30年度 下長こども園 事業報告Ⅱ

1 行 事

4月 2日	入園・進級説明会（保育開始4月1日）	9月14日	年長児お楽しみ駒っこランド
4月 7日	保護者総会	9月26日	シルエット劇場鑑賞（年長）
5月16日	種芋植え よもぎ摘み	9月29日	未満児参観
	種植え（ラディッシュ・枝豆・インゲン）	10月 3日	小遠足・りんご・ぶどう狩り
5月19日	親子バス遠足（以上児）	10月 4日	さつま芋掘り・稲刈り
5月22日	田植え よもぎホットケーキ作り	10月 5日	子育て支援ふわふわたいむ
5月28日	子育て支援ふわふわたいむ	10月13日	下長公民館祭り年長児参加
6月 1日	苗植え（かぼちゃ・さつま芋）	10月19・20日	陶芸展
6月 9日	わくわくタイム参観日	11月 1日	焼き芋会
	親子焼き物教室(年長)	11月 8日	お宮参り
	給食試食会	11月 9日	国土交通省除雪出動式(年長)
6月16日	保護者焼き物教室	11月12日	施設監査
6月19日	シニアなかよし交流会（年長）	11月13日	下長小学校交流会（年長）
6月20日	ラディッシュ収穫	11月14日	おにぎり作り
7月17日	下長小学校校外見学（年長）	11月17日	三沢基地ツアー（年長）
7月21日	夏祭り	12月15日	お遊戯会
7月27日	小学生3年生対象焼き物教室	12月26日	もちつき会
8月 3日	流しそうめん会（年少・年中）	1月17日	下長小学校給食交流会（年長）
	流しそうめん会（小学生1,2,3年生招待）	1月18日	凧上げ会
8月 4日	流しそうめん会（年長親子）	1月26日	以上児参観
8月24日	いんげん掘り	2月 1日	豆まき会
9月 8日	運動会	2月20日	えんぶり鑑賞会
9月13日	寿楽荘慰問 枝豆収穫	3月12日	お別れ会
		3月16日	卒園式

※ 社会貢献活動として下長公民館わくわくキッズ6月と10月実施

※ 誕生会は毎月実施

※ 体操教室は毎月実施

※ 「えいごで遊ぼう」は毎月実施

※ お茶会 2月19日、2月26日、 2回実施

2 避難訓練

毎月1回実施（総合訓練 6月22日・11月16日）

3 園児健康診断

内 科 5月18日・10月23日

歯 科 6月 8日・11月21日

4 園児（平成 30年 4月1日現在）

0歳児 8人、 1歳児 14人、 2歳児 11人、 3歳児 22人
4歳児 21人、 5歳児 20人 計 96人（うち広域入所 0人）

5 職員（平成 30年 4月1日現在）

理事長 1人、 園長 1人、 副園長 1人、 主幹保育教諭 1人、 副主幹保育教諭 1人、
保育教諭 12人、 パート保育教諭 4人、 看護師（保健師）1人、 調理員（管理栄養士）1人、
調理員（調理師）兼用務員 1人 事務員 1人 産休中1人、 育休中1人
計 27人

6 保育対策促進事業

延長保育促進事業、一時預かり事業を実施